

# You & I

あなたと私…優しさと愛…

年齢・性別に関わらず、互いに認め合い、心豊かにいきいきと暮らせる社会をつくりましょう。

- 表紙 女性消防団員「すきゅーと」・コラム“輝く女性たちへ”
- 特集「地域防災と輝く女性たち」
- 杉戸町男女共同参画に関する住民意識調査(報告)・女性相談窓口のご案内

## 防災訓練



男女も男性も生きやすい  
男女共同参画社会が一歩  
も早く実現するよう、情報  
報紙「You & I」はこ  
れからも情報提供に努め  
ています。

女性が活躍・輝くことは、  
本人にとっても社会にとって  
ともプラスになります。  
女性が一歩踏み出すため  
には、家族や周囲の理解が  
必要になりますが、「一歩勇  
気を出して踏み出してみま  
せんか?」

安倍内閣では、女性の活躍推進成長戦略の中核に位置付け、「すべての女性が輝く社会をつくる」としています。  
なぜ、女性の活躍が求められてくるかといふと、少子化の影響で働き手が減ってきていて。男性だけにたよつていいられないと言つことが背景にあるのです。  
女性が活躍する」と何が変わるのか?  
単純に働き手が増えるだけではなく、視点が変わることで、新たなサービス等が生まれることが期待されています。

女性が活躍・輝くことは、  
本人にとっても社会にとって  
ともプラスになります。  
女性が一歩踏み出すため  
には、家族や周囲の理解が  
必要になりますが、「一歩勇  
気を出して踏み出してみま  
せんか?」

第14号  
2015年  
3月1日発行

編集発行  
すぎと男女共同参画推進室  
〒345-8502 埼玉県北葛飾郡杉戸町清地2-9-29

TEL 0480(33)1111(内線217)

ホームページアドレス <http://www.town.sugito.lg.jp/>

## すぎと男女共同参画情報紙

## 杉戸町男女共同参画に関する住民意識調査から

第3次すぎと男女共同参画プランの中で、女性消防団員の活動として、男女共同参画の視点に立った啓発活動や防災訓練などを実施し、活性化を図ってきました。

昨年10月、第4次プランの策定に向け、問29「防災・災害復興対策で男女の性別に配慮して取り組む必要があると思うのは何ですか。」と、住民の方々の意見を伺いました。

\*必要だと思う取組について上位3つは、下記のとおりです。(一人3つまで選択:回答者444人)

1位: 避難所の設備 (男女別トイレ・更衣室、防犯対策等)	309件 (69.6%)
2位: 乳幼児、高齢者、障がい者、病人、女性(女性用品等)に対する配慮	283件 (63.7%)
3位: 災害時の救援医療体制(診察・治療体制、保健師、助産士の配置)	162件 (36.5%)



◀先の東日本大震災を受け、町は防災計画を見直し、役場敷地内に増設する形で、新たに杉戸宿をイメージした蔵風の防災倉庫を建設。(平成26年3月完成)

## 杉戸町女性相談窓口 要予約

夫や恋人との関係(暴力を受けているなど)、子育て、介護、自分の体のこと、仕事の悩み、人間関係などの悩みをお持ちの女性。

どうぞお気軽にご相談ください。

★相談日/毎月第1・3水曜日 13:00~16:00

緊急の場合は随時受付

★費用/無料

★申込み・問合せ/人権・男女共同参画推進室

☎ 33-1111(内線217)

## 相談室から…



~だれにも相談できずに、ひとりで悩んでいませんか?~

女性としての、さまざまな悩み、内容によっては、家族や友人に相談しにくい場合もあるでしょう。そんな時はひとりで抱え込まないで女性相談窓口をご利用ください。あなたが悩みを解決できる力を持つために専門の女性心理カウンセラーや女性相談員がサポートします。きっと、気持ちが楽になり、力がわいてきます。

※相談日以外は担当職員の対応となります。

## 編集後記

男性、女性それぞれ考え方目線の違いは当然。それでも男性と女性、認めてお互い尊重し合うことが大切です。(○)  
いやという時の備えと共に、お互いの気持ちで助け合い、気力と体力そして地域参加力も充実させたいと思いました。(△)  
働く女性にとって、家族の理解と協力は大きな原動力ですね。お互いで支え合って、歩んでいけたらいいですね。(□)  
いかという時の備えと共に、お互いの気持ちで助け合い、気力と体力そして地域参加力も充実させたいと思いました。(○)  
今回の記事を通してあらためて人と人のつながりや語り継ぐことの大切さにふれました。感謝!(△)

1.17.阪神淡路大震災より20年。今回の記事を通してあらためて人と人のつながりや語り継ぐことの大切さにふれました。感謝!(△)  
あなたの自由な発想で、「男女共同参画情報紙」の企画・編集に関わってみませんか。  
楽しい仲間たちと手づくりの情報紙をつくりましょう。経験は問いません。まずはご連絡ください。  
●編集会議 月1回程度  
●問合せ 人権・男女共同参画推進室  
※保育が必要なお子さんがいる方は事前にご相談ください。

◆あなたの意見・感想をお寄せ下さい。

# 地域防災と輝く女性たち

人と人とのつながりを大切に  
～女性消防団員“すきゅーと”～

## \*女性消防団員「すきゅーと」\*



平成21年10月、女性ならではの優しさやきめ細やかさを活かした防災活動や応急手当訓練を通じ、地域住民に安らぎと安心感を与えることを目的に12名の女性消防団員「すきゅーと」が誕生。(発足当時)

## \*すきゅーと インタビュー\*



Q 女性消防団員の主な仕事は何ですか。

A 主に消防署や各地区で実施されている自主防災組織訓練のときに、心肺蘇生法や救命講習などの指導とAEDの普及をしています。また、アグリパークなどに出向い住宅用火災報知器設置の広報活動もしています。

Q 皆さん、仕事を持っていますが、活動は仕事の合間にするのですか。

A 活動依頼が、土・日曜日や平日の時もあります。2か月に1回の女性消防団員会議の時に、担当団員を割り当て、参加しています。特に9月から11月にかけ、各地区で自主防災組織訓練が多くあるので、その時はハードスケジュールになります。

Q 消防団員になって「大変だったこと」や「良かった」と思うことを聞かせてください。

A 自分のスキル以上のことを質問をされてしまうと「正直どうしよう…」と思いますが、いつも救急隊員の方が後ろに控えているので安心しています。その時は自分たちの“勉強不足”を身に染みて感じています。また11月の土・日曜日は、自主防災組織訓練や消防特別点検があるので、団員はフル回転しないと間に合いません。各自、仕事をもっているので負担が大きくなっていると思います。一方、受講者の方々から「ありがとう」という言葉を掛けられるととても嬉しいです。これまで、いろいろな方と顔見知りになり、触れ合い、そして一緒に活動できたことは、自分にとって大変プラスだったと思います。

Q 家庭と仕事、そして団員活動の両立はどうですか。

A この活動は、家族の協力・理解がないと出来ません。家族がみんな応援してくれているし、“世の中の役に立っている”と思うから続けられています。「これからも、女性消防団員としてしっかりやらなくては…」と思っています。

## \* 地域防災訓練から \*

○日ごろから、何に気をつけていたらいいですか。  
・各家庭に住んでいる方を地域で知っておくこと。  
・普段から助け合えるように、あいさつ等の声かけをして近所との付き合いを大切にすること。  
・つながりのある地域をめざしきめ細やかな女性目線の助け合いができるようにすること。



### ワンポイント

### ラップでの応急処置



- ・患部の固定や乾燥を防ぐことができる。
- ・いつも手の届くところにあるので、利用しやすい。
- ・巻きやすく、張り付くので骨折時固定しやすい。

## \*家庭で災害にあったら… そのとき慌てないためにも\*

### 災害発生直後

突然、地震に見舞われた場合は、わが身の安全を守る体勢をとりましょう。地震の揺れがおさまったら、落ち着いて以下の順序で行動しましょう。

### 6 身を守るために 6つのポイント→

